

# 2011年（平成23年）度 第1回理事会記録

（この理事会は引継を兼ねて、次期役員予定者の陪席のもとで行なわれた。）

日時：2011年（平成23年）1月29日（土）13:30~16:30

場所：八重洲倶楽部第2・3会議室

出席者（14名）：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上、常務理事）、明坂年隆、天野修、石村和敬、井関尚一、小路武彦、小林繁、佐藤洋一、仙波恵美子、寺島俊雄（以上、理事）、相磯貞和、渡辺雅彦（監事）、竹田扇（常任幹事）

陪席者：松村譲児、高田邦昭、高野吉郎、大野伸一、千田隆夫、青山裕彦、福井義浩（以上、次期理事予定者）、天野恵子、中村聡、川村知子（以上、口腔保健協会）

欠席者（3名）：岩永敏彦、坂井建雄、佐々木順造（以上、理事）、八木沼洋行（次期監事予定者）

## I. 理事長挨拶

任期の2年間で振り返って解剖学会の抱える現状と今後の課題を説明し、新旧役員への理解と協力を要請して挨拶を終えた。

## II. 議事録書名人の選任

議事録署名人として明坂年隆、寺島俊雄の両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

## III. 会議記録の確認

(1) 2010年（平成22年）度第5回理事会（平成22年12月11日開催）、記録、同議事録（案）

## IV. 次期理事長・次期常務理事の選出について

議長より標記議案の提案がなされ次期理事予定者に依る互選が行なわれた。理事長に高田邦昭次期理事、常務理事に牛木辰男、岡部繁男、河田光博の各現常務理事が、また渡辺雅彦現監事が常務理事に選出され承認された。

## V. 報告事項

### 1. 庶務報告（岡部庶務担当常務理事）

(1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

会費未納者に関する説明があり、その氏名を次回の総会時に会場で掲示する事が確認された。

(2) 教授就任による申請学術評議員について

1件の申請があり、有資格者であることの確認が行われた。

(3) 平成23・24年度役員選出選挙結果について

選挙規定により中国四国支部の次点繰り上げがあった事、無効票の回避策を次回から実施する事が確認された。

(4) 各種委員会報告について

情報技術委員会（辰巳委員長）以外からは提出済である事、解剖学会HPアクセス件数の調査を行う事が確認された。

(5) 評議員会・総会の案内と書面表決状について

資料に基づいて説明があった。

(6) 評議員会・総会の資料作成について

物故会員の追悼文執筆依頼、新任教授の名簿の確認があった。解剖学雑誌投稿規定改訂に関する議事を追加する事、「第14回国際組織化学会議」は平成24年度の開催であるため今回の議事からは削除する事、国際形態科学シンポジウムへの協力を議事に追加する事、APICAの演題受付締切りが延長された事、招待講演枠を増やす事が確認された。

(7) 文部科学省高等教育局医学教育課による「死体使用に関する調査」アンケートについて

資料に基づいて説明があり、様々な意見交換が行なわれた。

### 2. 編集報告（藤本編集担当理事）

特になし

### 3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成22年度日本解剖学会奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

女性の出産休業への配慮、解剖学教育への貢献評価システムの確立、応募年齢制限の変更などに関して報告があった。

- (2) 2011(平成23)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について  
内山理事長より抄録集は学会会場で配布する事、PDFは事前にオンラインでダウンロード可能である事が報告された。岡部理事より懇親会参加状況が紹介された。
- (3) 生科連 第2回定例会議について  
資料に基づいて説明があり (i) ポスドクの実態調査が行われた事、(ii) 生物学オリンピックへの協力要請があった事、(iii) 細胞生物学会から「最先端・若手支援プログラム」に関する提言があった事、が紹介された。
- (4) 技術士のしおり案について  
資料に基づいて説明があり、試験範囲に電子顕微鏡関連事項を入れるか否かに就いて継続して審議することが報告された。
- (5) 第28回日本医学会総会について  
資料に基づいて説明があった。

#### 4. 会計報告 (牛木会計担当理事)

- (1) 支部学術集会収支報告について  
各支部からの報告書に関して説明があった。
- (2) 第115回全国学術集会決算について  
同大会残余金が学会に返還された事が報告された。
- (3) 平成22年度決算書概要(案)について  
資料に基づいて財産目録、正味財産、決算に関してそれぞれ報告があり、学会会計が現在は黒字である事が確認された。

#### VI. 審議事項

- (1) 平成23年度予算(案)について  
牛木理事より資料に基づいて説明が行われた。この中で以下の2点の訂正事項が確認された。(i) 現在の終身会員会費10万円を12万円に改定する事、(ii) 全国学術集会費用は実態に合わせて1500万円を2500万円に改定する事。1名の理事より学術集会の予算額に関する質問があり、牛木理事より年度毎に予算額が設定されるので仮予算が決定した時点で連絡して欲しい旨の回答がなされた。以上を受けて満場一致で本議事は承認された。
- (2) 申請による学術評議員審査について  
内山理事長より配布資料に基づいて17名の候補者に関する説明が行われた。候補者リストを巡って6名の理事から質疑応答があり、現理事のみに依る投票が行われた。渡辺、相磯両監事のもとで開票が行われ、投票者総数14名(欠席3名)であった旨が報告された。過半数を獲得した候補者11名の学術評議員への当選が承認された。内山理事長より当選者のうち書類不備者は修正の上再提出する事、会費未納者は会費を納入する事が確認された。
- (3) 永年会員の推薦について  
岡部理事より資料に基づいて説明があった。満場一致で承認された。
- (4) シュプリンガーとのASIの契約について  
藤本理事から公開入札に関する説明があり、満場一致で承認された。
- (5) 男女共同参画委員会の委員推薦について  
岡部理事より資料に基づいて選考課程が説明され、満場一致で承認された。仙波理事からシンポジウムに関する説明があった。また小林理事から男女共同参画”推進”委員会という名称変更の提案があり特に異議なく承認された。
- (6) 将来計画ワーキンググループ最終答申案について  
岡部理事より資料に基づいて説明があった。また内山理事長がWGを委員会に昇格させ継続性を持たせたい旨の提案を行い、特に異議なく承認された。1名の理事からWGの最終答申の公開に関する質問があり、内山理事長からHP等で公開する旨の回答があった。
- (7) 一般社団法人移行について  
岡部理事から資料に基づいて説明があった。変更の要点は (i)所在地の変更(文京区から豊島区)、(ii)第4章28条社員総会に関する規程の削除、の2点である。これを受けて内山理事長から補足説明があった。3名の理事から質疑応答があった上で採決を行ない、満場一致で承認された。
- (8) 奨励賞規約見直しについて  
河田理事より資料に基づいて説明があった。1名の理事から奨励賞選考規程に関して疑義が提示され、この部分を厳密に規定し直す事で採決を取ったところ、満場一致で承認された。
- (9) 次期理事会への申し送り事項について

岡部理事より資料に基づいて説明があった。河田理事からAPICAに関する説明（中国との関係、IFAAへの協力法など）、藤本理事から解剖学雑誌、ASIに関する説明、牛木理事から経費節減等に関する説明があった。以上特に異議なく承認された。内山理事長から新役員への挨拶があった。

(10) 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について  
標記各種会議の日程等の案が提出され、承認された。

上記の2011年度（平成23年度）第1回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2011年（平成23年）            月            日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人